

福島潟エリアにおけるモデルプロジェクト

新潟市北区観光協会

えちごエコネット協議会・自然環境活用部会

写真：自然学習園の池の周りに広がるサワオグルマの群落（2024/5/4）

検討・実施事項

1. 福島潟の強み・魅力の整理
2. 潟の食材の活用展開案
3. 現地視察報告
4. レンタサイクル等の運用状況
5. マイマップの利用状況
6. おすすめのハッシュタグの抽出とその活用案
7. 福島潟モデルPJにおける取組展開イメージ
8. 潟フェス出展報告

参考. 瓢湖白鳥観察舎

1. 福島潟の強み・魅力の整理

福島潟の強み・魅力

強み・魅力の活用に向けた課題

潟の 生き物

オオヒシクイ



カンムリカイツブリ



オニバス



オオヒシクイなどの日本最大の越冬地であり、カンムリカイツブリの子育てや北限のオニバスなどを間近に観察することができる。

- ・ガイド育成
- ・デジタルマップの充実
- ・グッズの充実

潟の 景色

潟舟から見る水辺



雄大な夕日



ビュー福島潟屋上からの景色



潟やその奥に見える山々の四季折々、時間によって変化するの風景は、福島潟ならではの。ビュー福島潟の屋上からは、その景色を一望できる。

- ・撮影スポットや季節の整理
- ・発信方法の工夫

潟の 文化

潟来亭



菱風荘の囲炉裏



潟舟体験



古民家風の休憩所の潟来亭の縁側では、のんびりとした時間を過ごせる。囲炉裏を囲んで、潟の恵みを味わったり、昔ながらの潟舟を楽しんだりしながら、ディープな日本の文化を体験できる。

- ・体験プログラムの洗練化
- ・担い手の確保
- etc.

2. 潟の食材の活用展開案

前回部会にて、潟の食材を食べながら検討



ヒシ・ハスの実

活用展開案

- 調理師学校との連携
 - メニューの考案
 - 料理コンテスト
- 割烹との連携（北区が連携中）
- 綺麗な弁当箱・お重での提供
- その弁当を用いたピクニックイベントの企画

この後、資料3-2で、新潟市北区産業振興課より、取組みを紹介いただきます。

3. 現地視察報告



自然栽培に取り組まれている
上野農場へ視察



福島潟周辺を視察



- 自然栽培米の購入者多くは、都市部に住む人だが、地域の人こそ買っていただきたいという思いで生産している（上野氏）。
- この時期にも江に水が残されており、生きものにとって良い環境が保たれている（関島委員）。

4. レンタサイクル等の運用状況

レンタサイクル Nimo

- 行政実施のレンタサイクルは終了し、(株)愛宕商事が引き継いでいる。
- ポートは豊栄駅のみ。
- 24時間&1泊まで貸し出し可能。

電動キックボードシェアリング Nimo

- (株)愛宕商事が運営。
- ポートは、豊栄駅、ビュー福島潟、DHC酒造に設置されている。
- 乗り捨ても可能。



豊栄駅前ポート



キーボックス



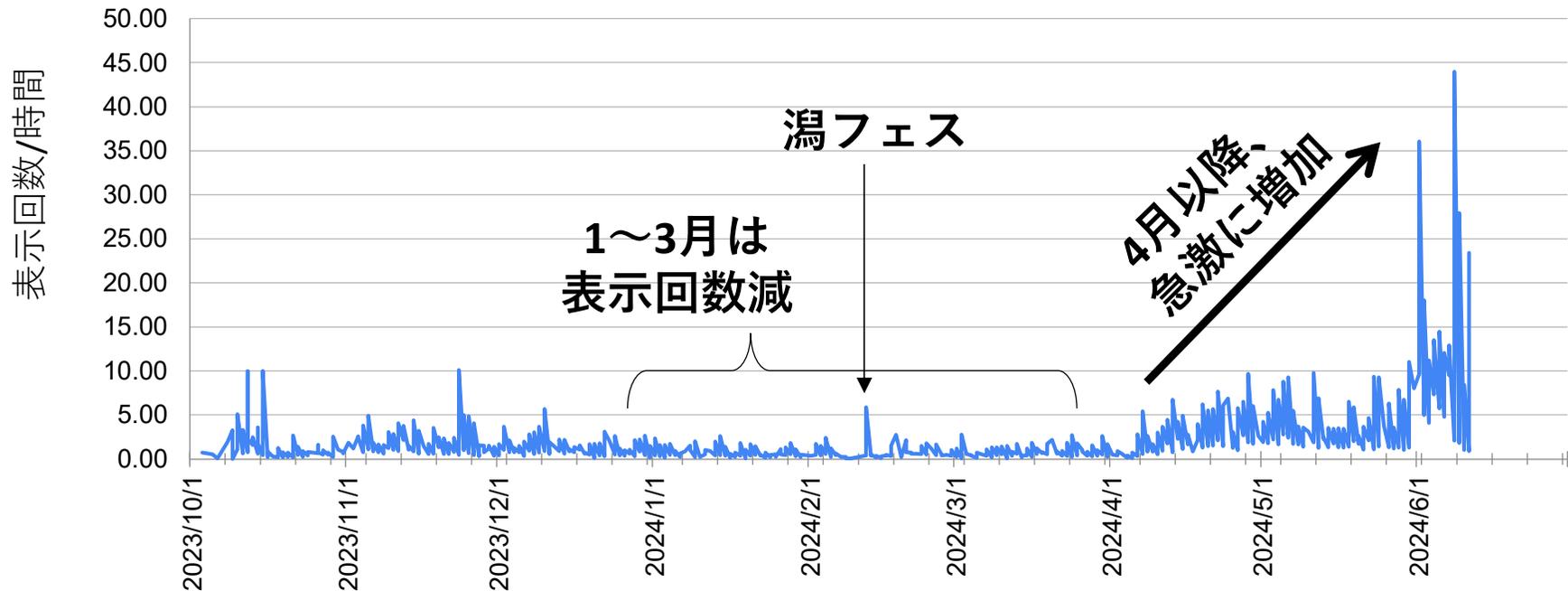
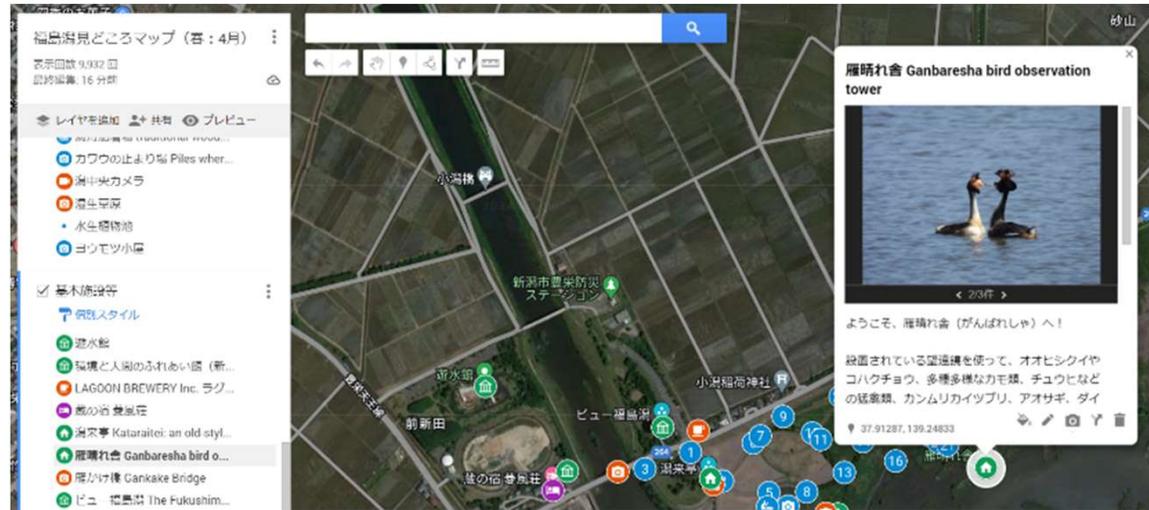
ロードバイク



ビュー福島潟ポート

5. マイマップの利用状況

- 季節ごとに、説明文や写真を更新した。
- 冬期は表示回数が少なくなる（0.1～2回程度/時間）傾向があったが、4月以降は急激に増加した（～40回程度/時間）。



6. おすすめのハッシュタグの抽出とその活用案

ハッシュタグ	おすすめ度
# 風景	★★★★★
# ファインダー越しの私の世界	★★★★★
# 写真撮っている人とつながりたい	★★★★★
# 菜の花	★★★★☆
# niigata	★★★★☆
# 自然	★★★★☆
# 夕日	★★★★☆
# lovers_nippon	★★★★☆
# ロードバイク	★★★★☆
# 新潟	★★★★☆
# Canon	★★★★☆
# 青空	★★★★☆

【磯貝委員より共有いただいた】

ビュー福島潟 Instagram

赤字 = おすすめ
ハッシュタグ

【雁ばり隊メンバー募集】♡22件
福島潟 # 新潟市北区 # 自然体験
子供 # 新潟イベント

【菜の花日記】♡74件

【駐車場一方通行】♡38件
福島潟 # 新潟市北区
ビュー福島潟 # おでかけ # 新潟市

【菜の花こみちづくり】♡49件
福島潟 # 新潟市北区
ビュー福島潟 # 菜の花畑
菜の花 # イベント # 新潟

6. おすすめのハッシュタグの抽出とその活用案



→ 「写真」に関するキーワードが多い。

- ・ 既存の生き物観察や文化体験のイベントに、写真の要素を追加
- ・ 広報の際には、おすすめのハッシュタグを使用
- ・ SNSでの広報におけるインサイト分析

7. 福島潟モデルPJにおける取組展開イメージ



8. 潟フェス出展報告 イベント概要



国際湿地都市 NIIGATAの未来を考えよう

潟かたフェス 2024

2月12日(月)祝
10:00-17:00

会場 新潟日報メディアシップ1F・2F
(新潟市中央区方代3丁目1-1)
お越しの際は公共交通機関をご利用ください

「潟(かた)」などの湿地が残る新潟市は、ハクチョウなどの自然と人との共存の場となり、日本で初めて、ラムサール条約の湿地自治体認証を受けました。新潟市の「潟」について、もっと知って体験してみよう。

入場無料

ラムサール条約湿地自治体認証記念
Wetland City Network

新潟県マスコットキャラクター「クイクイ」

潟フェス限定版「湿地カード」を1枚プレゼント!!
会場内でポイントを集めて全6種ある「湿地カード」をコンプリートしよう。更に潟笛バッジ、オリジナル手ぬぐいもあるよ。

潟に関する取組展示
1F みなと広場
2F 日報ホールホワイエ
団体・学校による取組や「潟」に関わる資料・情報を展示します。

作って、遊んで、学んで 1F みなと広場
「潟」に触れてみよう!
ヒンメリワークショップ
潟かるた 潟釣り

申し込み方法は裏面をご覧ください
要申込 講演・発表
先着200名 入場無料

2F 日報ホール | 13:30-16:30 (受付12:30-)

第1部 講演

- 藤田 美幸氏 新潟国際情報大学 経営情報学部 経営学科 専任教授
- 堀 昌伸氏 出雲市庁舎建設課 「クレメンターイザル」部長 兼ラムサール推進委員長
- 松浦 和美氏 株式会社U-STYLE 代表取締役

第2部 発表

湿地の環境学習成果発表

- 赤塚小学校
- 葛塚東小学校
- 松野東小学校
- 岡方第一小学校
- 赤塚中学校
- 高志中等教育学校

主催 | 新潟市、新潟市皇海研究ネットワーク会議 | 後援 | 国土交通省北陸地方整備局
問い合わせ先 | 新潟市環境政策課 TEL.025-226-1359

新潟市の豊かな里潟の魅力やラムサール条約湿地自治体認証について、より多くの人に知ってもらうことを目的に開催。

活用部会部会長である藤田委員が「潟」におけるアドベンチャーツーリズムの創造：自然と共生する「えちごエコネット」～福島潟の事例から～と題して基調講演。



8. 潟フェス出展報告 展示内容



ヒシ・ハスの実の試食



実物大の
オオヒシクイと
オオハクチョウ
の模型



福島潟の四季の
魅力動画の放映



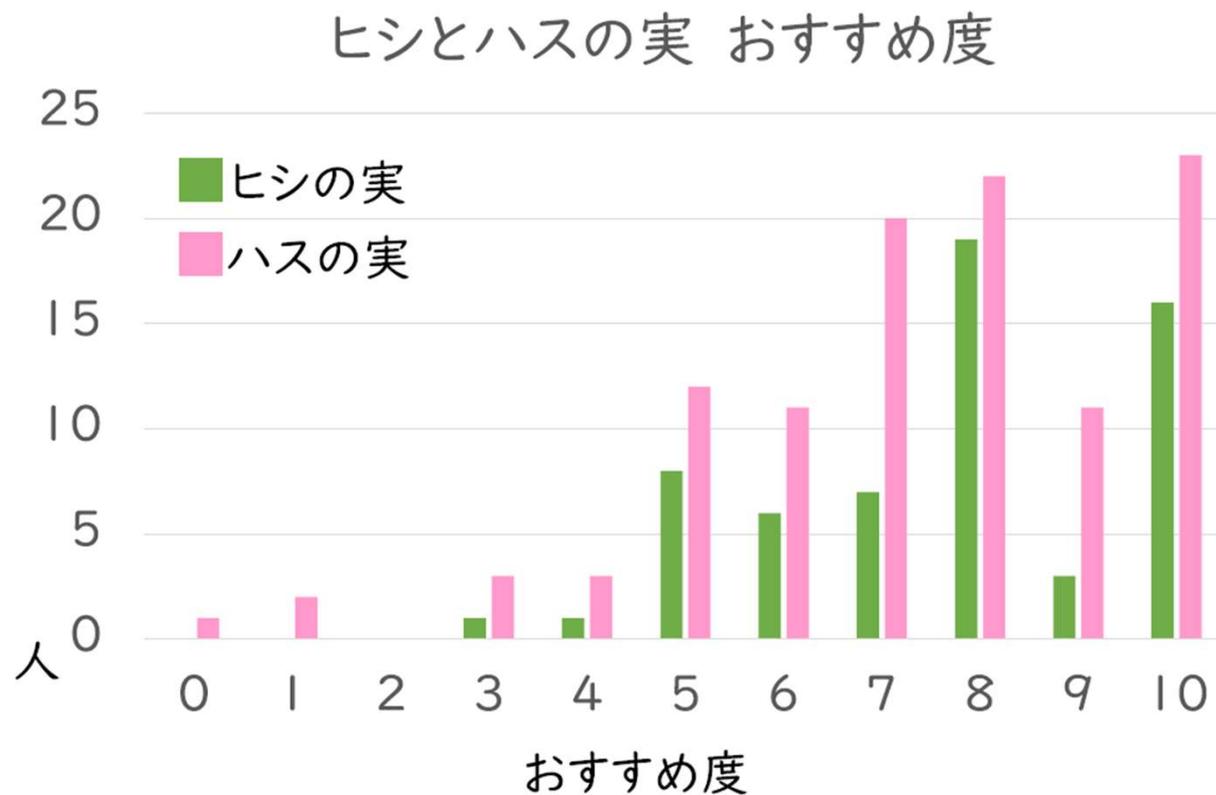
パネル展示



実物の重さの
オオヒシクイの
ぬいぐるみ

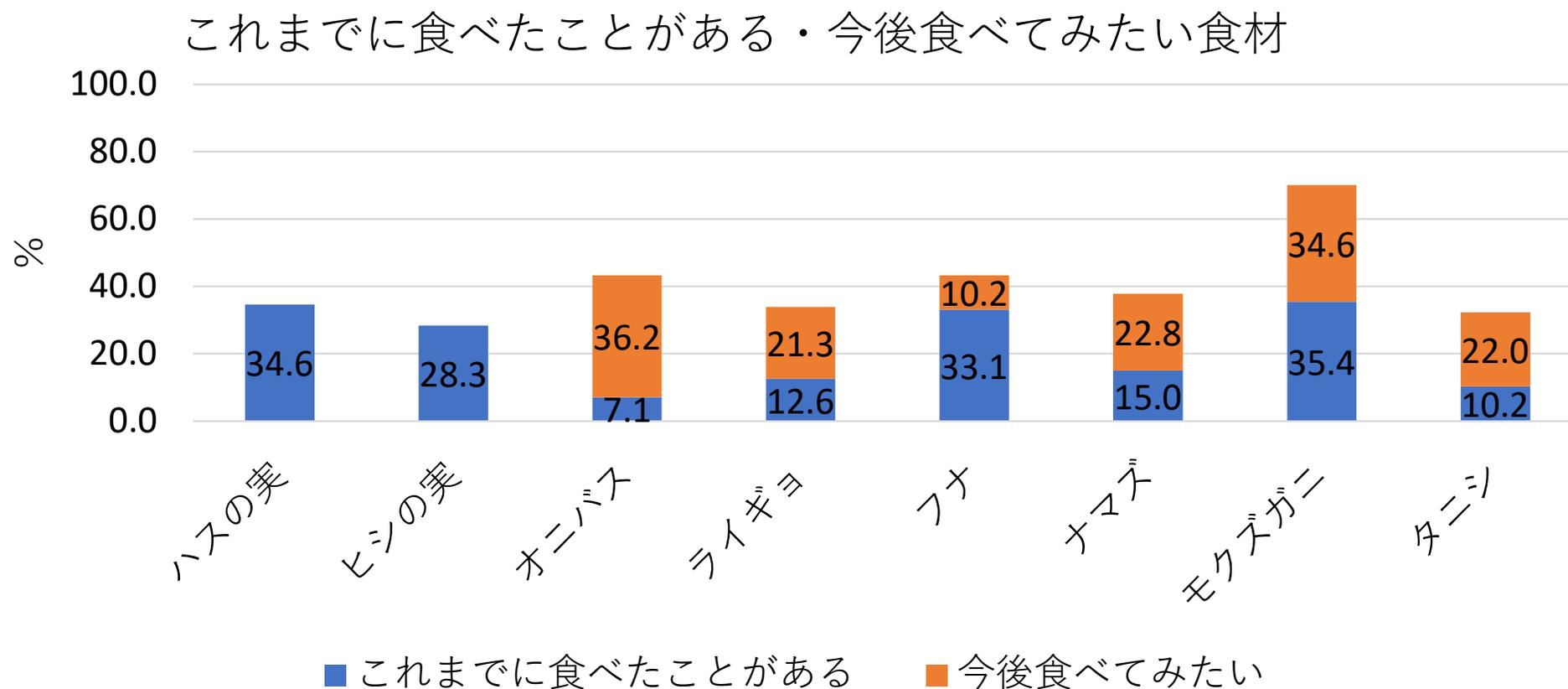
8. 潟フェス出展報告 アンケート結果

- ヒシの実もハスの実も味付けは塩のみとシンプルだったが、どちらも満足度が高かった。
- 「懐かしい」「子どもたちへ、生きた歴史学習の材料として活かしてほしい」等のコメントをいただいた。



8. 潟フェス出展報告 アンケート結果

- いずれの食材についても、3~4割の方が「食べたことがある」または「今後食べたい」という結果。
- モズクガニは、食べたことがある人、食べてみたい人どちらも多く、合わせて70%と人気があった。



(参考：瓢湖白鳥観察舎)



観察舎内から見た瓢湖 (5月)



各種お土産・グッズなど



ツルシギの群れ (5月)



瓢湖ガチャ

